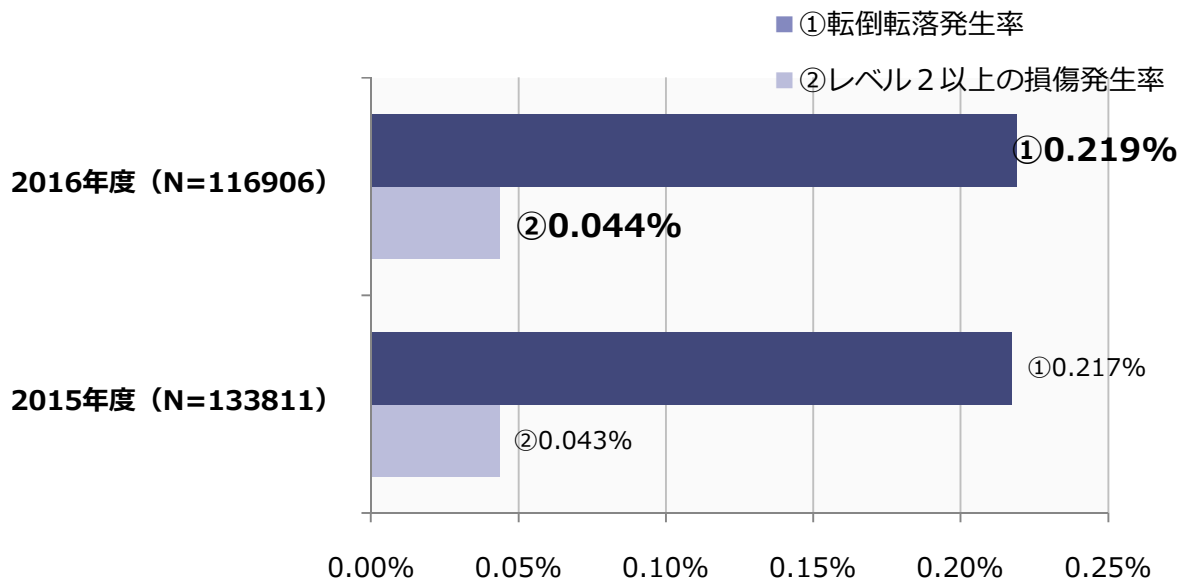


転倒転落による損傷発生率

転倒・転落予防の取り組みが効果的に行えているか評価する指標です。

入院中の転倒転落は慣れた住居と違う環境や、病気そのもの、治療や検査が身体に影響を及ぼすなど様々です。発生した事例の追跡や発生原因の分析から必要な予防策・改善策を導き出すことができ、実践していくことで発生防止につながる。

より低い値が望ましいです。



当院値の定義・算出方法

分子： ①インシデントレポートの転倒転落件数

②インシデントレポートの転倒転落件数のうち損傷レベル2以上の転倒・

転落件数（レベルは日本病院会の定義使用） ×100 (%)

分母： 入院のべ患者数（患者100人あたりの割合）

※グラフ中のN数は分母の値を示しています。

結果の考察と今後の取り組み

- ・入院時全患者に転倒転落アセスメントを実施し、問題点を抽出し状態に応じた予防策の実施する
- ・転倒転落アセスメントスコアⅡ以上は看護計画を立案し介入を行う。離床センサー使用している患者の排泄介助時はそばを離れないようにする。
- ・入院時患者や家族に「転倒転落防止ビデオ」をみてもらい、転倒転落対策に協力してもらう

文責：セーフティマネージャー
藤田 志津